



IWATACHIZAKI
SUSTAINABILITY
R E P O R T

2026

岩田地崎建設株式会社 IWATA CHIZAKI INC.

〒060-8630 北海道札幌市中央区北2条東17丁目2番地 TEL 011-221-2221, FAX 011-222-7682 URL <https://www.iwatachizaki.jp/>
2,Kita 2-jo Higashi 17-chome, Chuo-ku, Sapporo Hokkaido 060-8630 Japan TEL +81-11-221-2221, FAX +81-11-222-7682

■ 詳しい活動内容を企業Webサイトに公開しています



企業WebサイトURL

<https://www.iwatachizaki.jp/>

紙面の都合で掲載できないコンテンツや
その他の事業活動・データについては
岩田地崎建設Webサイトに掲載しています。



この印刷物は北海道の風力で発電された
グリーン電力で印刷されています。

安心して豊かな社会環境づくりに貢献する



安心で豊かな
社会環境づくりに貢献し
未来を創造します



岩田地崎建設株式会社
代表取締役社長

Koji Iwata

私たちを取り巻く社会は、気候変動の深刻化、人口減少の進行、インフラの老朽化、さらには技術革新の加速等、かつてない構造的変化の真ただ中にあります。日本全国、そして海外においても社会基盤のあり方が大きく問われる中、建設業に求められる役割と責任はこれまで以上に高まっています。こうした環境変化は私たちに大きな課題を突きつける一方で、新たな価値創造の機会ももたらしています。社会の変化を真摯に受け止め、未来を支える企業として、より高い責任と覚悟が求められています。

当社は「安心で豊かな社会環境づくりに貢献する」というミッションのもと、誠実で堅実なもののづくりを積み重ねてきました。創業の地である北海道で培った技術力や経験を礎に、全国各地、さらには海外へと事業領域を広げながら、地域の課題解決に向き合い、人と自然が調和する最適な環境をつくること、地域から頼りにされる存在であること、そして社員一人ひとりが成長し続けられる企業であることを目指して歩んでいます。これらのミッションやビジョン、社訓に込められた価値観は、時代が変わっても揺らぐことのない当社の原点であり、企業文化として深く根付いています。私たちはこの原点を大切にしながら、変化の時代にふさわしい新たな価値を創造していきます。

建設業は、環境・社会・ガバナンスのすべてに深く関わる公共性の高い産業です。当社はサステナビリティを単なる取り組みではなく、企業経営そのものと位置付け、脱炭素や循環型社会の実現、生物多様性への配慮、再生可能エネルギーの活用等、環境負荷低減に向けた施策を一層推進してまいります。特に北海道で培った再生可能エネルギー分野の知見を全国・海外へと展開し、より広い地域の持続可能性に貢献して

いくことが重要であると認識しています。また、現場力の強化、人材育成、働きがいのある職場づくり、地域社会との協働等、社会価値の創出にも引き続き力を注いでまいります。さらに、透明性と公正性を重視したガバナンス体制を強化し、公共性の高い事業を担う企業としての責務を果たしてまいります。

現在推進している中期経営計画PhaseⅡでは、人材の確保と育成、収益力の向上、DX・GXの加速、ガバナンスの強化、成長分野への挑戦を重点課題として掲げています。これらはサステナビリティの重要課題と密接に結びついており、当社の価値創造プロセスをさらに高めるものです。特に、技術者の育成やDXによる生産性向上、環境配慮型施工の拡大は、未来の競争力を左右する重要なテーマであり、全社一丸となって取り組んでまいります。これらの取り組みを通じて、国内外の地域社会にとってなくてはならない企業としての存在価値を一層高めていく所存です。

私たちが今日まで歩みを進めることができたのは、社員一人ひとりの努力と成長、顧客・協力会社の皆様からの揺るぎない信頼、そして地域社会の温かいご支援の賜物です。建設業は多くの人々の力が結集して初めて成り立つ産業であり、そのつながりこそが当社の最大の財産です。これからも、すべてのステークホルダーの皆様とともに、持続可能で安心して暮らせる社会の未来を築いてまいります。

「安心で豊かな社会環境づくりに貢献する」というミッションを胸に、技術と人材を磨き、地域に必要とされ続ける企業として、未来に向けた挑戦を続けてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

岩田地崎建設株式会社
代表取締役社長 岩田 幸治

編集方針

本レポートは、当社がこれまで大切にしてきた理念、地域社会の一員として果たすべき責任、そして未来に向けた挑戦を、読者の皆様にお伝えすることを目的として編纂しています。建設業を取り巻く環境は大きく変化し、脱炭素や循環型社会の実現、地域の安全・安心の確保、働きがいのある職場づくりなど、企業に求められる役割はこれまで以上に多様化・高度化しています。こうした社会課題に真摯に向き合い、当社がどのように価値を創出し、未来を切り拓いていくのかを、理念から戦略、そして実績データまで一連の流れとしてお届けします。

まず、当社の存在意義や目指す姿を示すミッション・ビジョン・社訓を起点に、創業の地である北海道で培った強みを基盤としながら、全国各地および海外へと広がる事業展開の中で磨いてきた建設業特有の価値創造プロセスを描いています。これにより、当社の事業活動と持続的な成長に向けた考え方をご理解いただける構成としております。

続いて、環境・社会・ガバナンスの観点から特定したマテリアリティを提示し、当社が優先的に取り組むべき課題と、その背景にある社会的要請を整理しています。脱炭素、資源循環、生物多様性保全、現場力の強化、働きがいの向上、地域社会への貢献、透明性の高いガバナンス体制の構築等、未来に向けて果たすべき責任と挑戦を、具体的な取り組みとともに示しています。

さらに、中期経営計画 PhaseⅡ で掲げる5つの重要課題と事業戦略を、マテリアリティと論理的に接続し、当社がどのような方向性で成長を目指すのかを明確にしています。人材の確保と育成、収益力の向上、DX/GXの推進、ガバナンス強化、新たな挑戦への姿勢等、企業基盤を支える取り組みをサステナビリティ経営の視点から再構築しています。

最後に、財務・非財務のデータを体系的にまとめ、レポート全体で示した価値創造のプロセスと成果を客観的に裏付ける構成としています。数値としての実績を示すことで、当社の取り組みが確かな前進であることを読者に実感いただけるよう配慮しています。

本レポートが、当社の歩みと未来への意志を共有し、ステークホルダーの皆様との対話をより深める契機となることを願っています。

■ 報告対象期間
 2025年4月～2026年3月
※当該年以外の活動も一部掲載する場合があります

■ 報告対象範囲
 岩田地崎建設株式会社の活動を報告しています

紙面の都合で掲載できないコンテンツやその他の活動事例、データや最新情報については企業Webサイトに適時掲載しています。

サステナビリティ委員会と関係者達



本社/北海道本店



東北支店



東京・海外支店



大阪支店



コンテンツ(目次)

サステナビリティレポートについて

トップメッセージ	01～02
サステナビリティレポート編集方針 / コンテンツ(目次)	03～04

企業理念

ミッション・ビジョン・社訓	05～06
マテリアリティ / 中期経営計画	07～08
目標設定(KPI)	09～10

事業報告

環境 / 社会 / ガバナンス	11～28
土木 / 建築 / DX / 海外ほか	29～46

会社情報

会社概要	47～48
History	49～50
岩田地崎建設のSDGs	51～52